

各位

「人吉球磨地域 7 月豪雨災害被災への緊急支援の御礼」

拝啓

新緑の候、皆様に置かれましては、ご健勝にてお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年7月4日未明の豪雨による洪水被害は、人吉球磨地域の長い歴史の中で様々な体験を重ねてきた私たちにとっても、未曾有の災害となり、人吉市内及び球磨村を初め甚大な被災となってしまいました。

私たちのメンバーにおいても、山上さん宅の農家民宿「涼水戸の宿」、本田節さんの「ひまわり亭」、堀尾里美さんの「人吉旅館」、村田優子さんの「ホテルサン人吉」が甚大な被災となりました。

幸いなことに、他の会員の民宿等は被災なく無事であったため、災害当日から被災された方々へ、泥だしや各種器具や家具の洗浄や持ち出し等の支援を必死で行い、ボランティアが限られていた中でも、比較的迅速に復旧作業が進みました。

これも、グリーン・ツーリズムの実践を、1市9町村に渡って広域連携の下で重ね、心の一つとして取り組んできましたが、そうした確かな絆が、被災会員への大きな支援となり、広域連携型復興支援という評価をいただきました。

加えて、皆様方からの力強い多くの支援金を寄贈いただき、被災者への早速のお見舞金としての支給や、支援活動の支援金として活用させていただきました。遠くにお住まいであり、またコロナ禍の大変な時期であるにもかかわらず、心あるご支援をいただいたことは、私たちの大きな心の支えともなりました。

遅れ馳せながら、改めて心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。本来ならば、すぐにでもお礼を差し上げるべきところ、支援活動に追われていたとはいえ、御礼が遅くなりましたことを、心からお詫び申し上げます。

被災から8か月を超える歳月が過ぎ去りましたが、被災地はまだまだ復興の半ばであり、ボランティアが限られている中での復興の困難さを実感しております。しかし、「ひまわり亭」のキジ馬の帰還に勇気を与えられ、「日本でもっとも豊かな隠れ里」の再興をめざして、一体となって精進してまいります。どうぞ、今後とも人吉球磨への暖かいご理解と、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

謹白

2021年5月14日

一般社団法人・隠れ里ひとくまツーリズム 会長 樫木徹朗